

生徒・生活指導への取組状況～退学・不登校の状況と対処、指導の状況

本校では少人数制であることもあり家族的な雰囲気では生徒指導が行われている。学生が校長室で、校長や他の職員と共に楽しそうに雑談をしながら昼食をとっていることもしばしばである。しかし、多様な学生が入学してくる現在の状況では、様々な理由から学校生活に不応を起し不登校や中退を余儀なくされる学生も出てきている。昨年度1年間を見ても5名の生徒が退学した。(中退率約5%) その理由と指導の状況をまとめておく。

(理由)

- ・学業不振、学校生活・学業不応で学習意欲がない。
- ・情報関連は自分が目指す進路と違っていた。他の職業に就きたい。
- ・高校時代から不登校であったり、もともと精神的疾患を持っていた。
- ・人間関係がうまく保てない。
- ・経済的理由からアルバイトなどに時間をかけ過ぎた。

(指導の状況)

- ・ホームルーム担任による普段からの学生への声掛けやマンツーマンの指導。
- ・家庭訪問による本人・保護者との話し合い、電話による本人・保護者との緊密な連絡。
- ・校長面談。
- ・ケースによっては「若者サポート」などのNPO法人との連携や、高校の担任に協力をお願いして指導にあたる。